

長寿企業から主体変容を学ぶ

11月7日於:福田金属箔粉工業株式会社様

㈱佐々木工作所 佐々木 志朗

11月例会「長寿企業から主体変容を学ぶ」をテーマに福田金属箔粉工業株式会社様へ訪問いたしました。福田金属箔粉工業様は創業から蓄積してこられた独自の技術をベースに時代の要請に応える新たな素材、用途を開発し幅広い産業分野に提供されている、製造業では数少ない310余年の歴史を持つ長寿企業です。

1部では、社名にもあります金属箔、金属粉の製造現場を見学させていただきました。

まずは電解銅箔の製造現場から周り、続いて電解銅粉の製造過程、粉砕法による金属粉の製造現場、ショールームを見学させていただきました。自動車産業、印刷インキや塗料の原料、人口関節、プリント配線板、建築材料、錠剤などのシールド材料として使用されている金属箔など実際に商品化、製品化された福田金属箔粉工業様の技術を目にすることができました。



2部では、前社長をお勤めになられました林泰彦顧問にご講演いただきました。

その中で、福田金属箔粉工業様は「身の程を知り、それに適した事業展開をする」を基本方針とし、他の事業に手を拵げず、金属箔、金属粉に特化してきたことが、創業310余年を迎えることができた要因ではないかとお話を伺いました。そして、林泰彦顧問自身の経験からも経営者だけでは会社はつくれな、本気で自分の想いや夢を語り合える仲間がいるからこそ、理想の企業づくりができる。それには、経営者たる者「率先垂範」でなければならないと教えていただきました。



企業を永続するための特別な秘訣などはなく、経営者として当たり前の事を常に行い続けることの大切さを感じました。

最後になりますが、我々の訪問を快くお引き受け下さった福田金属箔粉工業株式会社様、林泰彦顧問そして、日中の開催にも関わらず、ご参加いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。